

ODA

沖縄脊髄損傷者連合会

しゃりん

69

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室
 Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

新年のご挨拶



沖縄脊髄損傷者連合会
 会長 上里一之

沖縄連合会、並びに関係者の皆さん、遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返ってみると、障害者自立支援法の導入に際し、おちつきの無い日々の連続だったように思います。特に、福祉サービス利用時に課せられる定率負担は、所得が低くサービスを利用して生活しなければならぬ多くの障がい者や家族にとって大きな負担となり、これからの

生活に大きな不安を抱いた人も少なくないでしょう。今年も、負担軽減策を含めたこの法律の改善すべき点を明らかにして、全国の脊髄損傷の仲間や地元その他の障がい者と共に連携を図り、当事者にとって望ましい制度となるように、関係機関へ働きかけていかなければなりません。

その一方で、会員の活動はとても活発で、車いすマラソンの上与那原さんの活躍を筆頭に、障害者スポーツにおいては、多くのメンバーが輝かしい成績をおさめています。また、福祉教育への積極的な取り組みや道路や歩道等のバリアフリーチェックを行い、福祉のまちづくりに向けた多くの提言事項が、行政側へ取

り入れてもらったことでしよう。

解決していかねなければならぬ問題が山積していますが、沖縄連らしく、会員同士力を合わせ、多くのサポーターの協力の下、楽しみながら23年目の会活動に取り組んでいきたいと思います。

九州ブロック定例連絡会議の報告

- 1、会員数の維持について
- ・この数年における退会者の分析及び入会者の経路等、会員数の増減を各支部で検証すること。
- ・会員には楽しさを求める者と問題意識を持って入会する者がいる。できるだけ後者のほうが良い。

各支部では、新加入者の入会理由についても一度7月までに整理すること。

2、啓発活動について

- 九州版の会報を発行するのも検討する。
- 福岡支部は全国支部に「わだち」を発送している。
- 福岡支部はNPO等の法人かも検討している。
- 福岡県支部はそうめん販売の収益から九州ブロック連絡会議へ5万円くらい納入している。沖縄県は九州ブロックへの支援(金銭的に)をして欲しい。
- 福岡県支部は福岡県から助成を受けてない、他の障害者団体は受けている団体が多い。限られた予算の中で県支部が助成金を要求すると、その分だけ他の団体の助成金が減らされるから、助成金をもらうか慎重にしたい。

福岡県総合福祉センター(クローバープラザ)には、6団体が入居している。

3、自立支援法による自立支援協議会へのかかわりについて

- 相談支援事業の相談員になるため、各県で実施されるケアマネジメント研修会を受講すること。
- 自立支援競技会の委員として参画すること。
- 4、全脊連第6回総会について
- 九州ブロック大分大会での決議を確認すること。
- 定款第3章「役員」の訂正を本部に訴える。

- 本部理事の数名で自立支援法成立に賛成した事の再発を防止するため、法制度などの重要案件の対処には各県支部の意向を集約して当たることを定款に盛り込むこと。
- 5、事務局体制について
- 各県支部及びブロックとの連絡はメールが有効だが、本部のメール活用は十分ではないので、その充実を求める。反面、本部だけでなく、いまだにインターネットの活用にも問題。
- 6、差別禁止法について
- 各県支部は国連の決議文を十分学習しておくこと。
- 千葉県の条例も参考にすること。

7、介護料の問題について

- 厚生労働省と本部との交渉で、本部の主張の仕方は問題だ。
- 介護料については、労災保険による介護料と自立支援法の介護料とダブって受給するのは間違っている。労災保険の優先があることを確認すること。
- 労災保険による介護料の増額を主張すべき。

報告・横田

沖脊連新春ボーリング大会&交流会

去る二月三日(土)、那覇市の歳末助け合い助成事業として、沖脊連新春ボーリング大会&交流会がマチナトボールにて行なわれまし

た。
午後三時三十分から開催されたボーリング大会では、会員、サポーター、又会員のご家族など約二十名程の参加があり、冲脊連会長の開会挨拶で競技がスタートしました。各レーンでは、家族で共に声を出し合い楽しんでる姿あり、サポーターの手助けの中、力いっぱいボールを投げている会員の姿あり、参加者の皆さんが楽しくプレーしていました。ボーリング終了後は3回のカラオケルームに場所を移し交流会が行なわれました。食事をしながらカラオケやおしゃべりで交流を深め、又先ほど行なわれたボーリング大会での成績も発表され、成績順に参加賞品が贈られました。



○付添1位・大城 健
○会員1位・上間 喜昭

た。
今回の催しは介護者のリフレッシュ事業も兼ねておりましたが、ボーリング大会、交流会に共に付き添い参加されたご家族の皆様、又会員の手助けをして頂いたサポーターの皆様には心より感謝しお礼申し上げます。

【成績】



☆施設訪問・交流会⑦

去年十一月十二日(日)、
 當間、山城(両理事)、前副
 会長の前川さん、介護者合
 わせて六名で南城市玉城に
 ある身体障害者療護施設
 「仁愛療護園」を訪問しま
 した。

訪問にあたり、私と當間
 が入所会員の方との面識が
 ないということもあり、以
 前から交流のあった前川さ
 んに同行してもらい、四名
 の脊髄損傷者の方から生活
 の様子を伺うことができま
 した。思い出話しをした
 り、施設内を案内しても
 らったりと、なごやかな雰
 囲気で交流することができ
 ました。

交流できるイベントづく
 りや、多種にわたる情報を

発信していける活気ある連
 合会にしていければと思っ
 ました。

報告・山城

私は停めませんキャン ペーン

去る1月28日(日)、午後
 3時半より、那覇市新都心
 のサンエーメインプレイス
 にて、第5回目の「私は停
 めませんキャンペーン」を
 行ないました。

関係スタッフ約30名
 が、三箇所の出入り口に分
 かれて、お店に出入りする
 人たちへ、停めませんキャン
 ペーンの趣旨を説明しな
 がら広報のシールを手渡し
 ました。当日は、北風が強
 くとても寒い一日でした
 が、那覇の中心ということ
 で、たくさんの人たちに私

たちからのメッセージが伝
 えられたと思います。



広告

毎月三十日発行
 ODA通巻 号外

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人
 沖縄県身体障害者福祉協会

沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F
 ボランティア小規模団体室・しゃりん編集部

上里一之

購読料は会費に含む
 【頒価 二十円】